

施設紹介 ① 附属図書館

「知の殿堂」
 沖縄・国際関連コンテンツの充実をはじめ、琉球大学の独自性を色濃くあらわす



充実した学修支援体制

●豊富な学生用図書

学生や教職員からのリクエストも受けながら、毎年約1万冊の図書を購入し、琉球大学の幅広い分野の学修活動を支援しています。紙の資料だけでなく、館外からインターネットを通して利用できる電子資料も多数揃えています。

●沖縄研究資料の利用サポート

デジタル化した上で現代語訳や英訳を付けた貴重書画像や、沖縄関係の文献情報を収録したデータベースをインターネット上で公開し、琉球大学ならではの沖縄研究資料の利用を強力にサポートしています。

●学外資料の利用支援

琉球大学が所蔵していない資料については、県内外の他の図書館から取り寄せて利用できるサービスを提供しています。

●多彩な学修エリア

一般的な閲覧席だけでなく、会話しながらのグループ学修やプレゼンテーションに適したエリア、パソコンを配置したエリア、一人で集中して学修できるエリアなど、学修方法に応じて選ぶことができる多彩な学修エリアを用意しています。

●グローバル化支援

館内には留学や語学学習のための資料や支援が充実したエリアを用意しています。自由に会話のできるスペースですから、グループで声を出して外国語会話の練習をすることもできます。

●きめ細かな学修サポート

資料や情報の調べ方や使い方をわかりやすく説明したガイドブックや講習会などを用意しているほか、サービスカウンターでも随時サポートします。

千原キャンパスの附属図書館本館(志喜屋記念図書館)と上原キャンパスの医学部分館とで、合わせて約100万冊の蔵書を備え、琉球大学の教育研究活動を支えています。沖縄県唯一の国立大学として国内外の沖縄研究資料を積極的に収集しているほか、国連寄託図書館とEU情報センターに指定されていることから国際的な資料も充実しており、県内外から広く利用されています。そうした資料と共に、館内には様々なコンセプトの利用エリアを設け、学生の多様な学修活動をサポートしています。

